



8年生 地域事業所インターンシップ 町内52事業所

●9月3日(火)から3日間、8年生が能勢町内52カ所の事業所(裏面に記載)にお世話になり、地域事業所インターンシップ職場体験学習を実施しました。



【目的】

- ・能勢地域の事業所での職業体験や、そこで働く人との出会いを通して、自身の将来について考えたり、今後の生活や進路選択にむけての具体的なイメージを持ったりするための機会とする。
- ・インターンシップを通して、課題に対してアイデアを出したり、実践してみたりといった、能動的にとりくむ態度を養う。

【内容】

- ・事業所での職業体験を通して、そこで働く人の姿や、その事業主がどのような思いでその事業所を営んでいるかなど、思いに触れる機会をつくる。
- ・事前にインターンシップ先の事業所から、現在困っていることやこれからとりくもうとしていることなどを「課題」として提案していただき、その課題を解決するためのアイデアをもって事業所を訪問する。

【体験当日までの流れ(学校でのとりくみ)】

- [4~5月] 希望職種アンケート・体験先事業所の決定
- [6月] 電話で体験先事業所への挨拶と事前訪問の依頼 ※事前訪問日時の決定
- [7月] 事前訪問 ※懇談期間 《7月8日(月)~12日(金)》の午後
- [9月] インターンシップ体験当日《9月3日(火)~5日(木)》原則 9:00~15:00



【事業所からいただいた課題のテーマ】

- 能勢のまちを考えていく上で、すごくいいテーマをいただいています。一部紹介します。
- 能勢の若い人が定着するには、まちとしてどういうことをしたらよいか?(建築業)
- 道の駅に出す商品のポップづくり(製造業)
- 能勢の季節を生かした食文化・ストーリーのあるメニューの開発(飲食店)
- 看護師業務はAIの拡大でどう変わるか?(医療機関)
- 障がいのある人があたり前に生活するには(福祉施設)
- 今後、手紙文化を残していくために、盛り上がる工夫を考える(郵便局)
- 建築業界の能勢の人材不足の解決方法を考える(建築業)
- 農業の楽しさを伝えるためには?(農業関係)
- フードロスがない飲食店にするには?(飲食店)